



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う中高一貫教育校

中学校

高校

文化祭

「残すことと変えること」

6月13日、共学化して初めての文化祭が行われました。今年度のテーマは「残すことと変えること」です。

開会式では、中高生徒会執行部による息の合ったダンスに会場は大盛り上がり。途中から、なんと校長先生もダンスに加わり、会場の熱はさらに高まりました。毎年恒例の音楽部によるオープニング演奏。途中、田中先生の熱唱もあり、楠隼らしさ全開の開会式となりました。

プログラムの最初は、中学生によるクラス合唱。準備期間も短い中、一生懸命練習した成果を発揮しました。中学2年は、3つの有名映画を合わせたパロディ劇で、会場の笑いを誘いました。高校1年の劇は某有名アニメのパロディ劇。笑いがありつつも、トリックと推理がしっかりしていて、会場の皆さんは真剣に見入っていました。



自由部門では、宇宙技術部や音楽部、クイズ研究会による各部活動の発表や有志によるバンド演奏など、バラエティに富んだ演目の数々が披露されました。展示部門では、各学級、学年、部活動単位での展示もあり、来場者を楽しませてくれました。中には、昆虫の展示や手作りのゲームもあり、小さい子もとても嬉しそうでした。

午後には、高校2年、中学3年、高校3年による舞台発表もありました。劇だけでなく、映像にもとても力を入れていて、入念な準備と努力を感じさせました。特に、最後の文化祭となる高校3年生は、大学受験への不安や焦りをテーマとした劇で、笑いがありつつも、これから受験に向けて一致団結して頑張ろうという意思表示をし、後輩たちにたくましい姿を見せてくれました。

“仲間とともに青春”する楠隼の良い伝統を引き継ぎながら、新しい試みが多く見られるテーマにふさわしい文化祭となりました。

楠隼は今日も元気です！

